

### 【実現施策の概要】

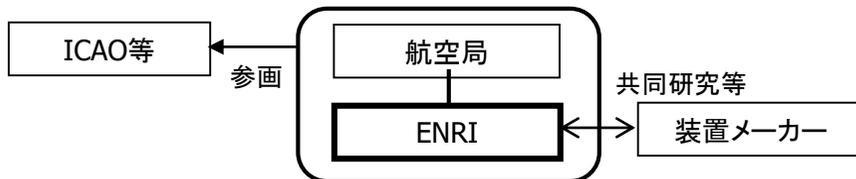
○ WAMを用いてDAPsを取得し、管制卓へ表示することにより状況認識能力の向上等、管制支援機能向上を行う。



■ DAPsの仕組み

### 【研究の実施概要】 2013～2016年度

- ・設定課題・目標 WAMによるモードデータリンクの検証
- ・研究テーマ名 【航空路監視技術高度化の研究(2013～2016年度) (ENRI:宮崎 裕己、古賀 禎)】
- ・研究実施体制 下記参照。運営費交付金による事業



### 【成果還元の内容】

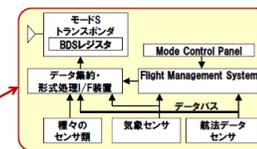
○DAPs 利用のために必要となるデータの信頼性担保 (異常データの排除)について、有効性評価システムの開発・評価を実施。異常データの検出能力検証、発生頻度を確認。

#### DAPS導入時の課題

異常なDAPsデータが存在 (ICAO作業部会等で報告)

データの信頼性の確保が必要

多数の装置・複雑な構成、機体による多様性



⇒ 運用中の機体からのダウンリンクデータをモニタする、

DAPsの有効性評価システムを開発

- ✓ 実データを用いた異常データ検出能力の検証
- ✓ 異常データ発生頻度の確認

### 【ENRI開発技術の反映内容】

- ・有効性評価システムの概念を航空局機材に反映。
- ・管制卓にDAPs情報を表示し参考情報として活用を開始。今後活用を通じて異常データの検出閾値を確定し本格運用へ移行

【WEB参照先】 電子航法研究所 年報

[https://www.enri.go.jp/info/nenpou/nenpou\\_index.htm](https://www.enri.go.jp/info/nenpou/nenpou_index.htm)

#### 【問合せ先】

(施策に関する問合せ) CARATS事務局  
 国土交通省 航空局 交通管制部 交通管制企画課 03-5253-8111(内線51104・51106)  
 (研究に関する問合せ) 国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所  
 電子航法研究所 研究統括監付 0422-41-3432